

システムの名称：**ファース工法【長期性能タイプ】**

第1章 システムの基本的な考え方

ファース工法は、樹脂素材による現場スプレー発泡施工で、その専門職に責任施工させる事で高い断熱性能と気密性能を持った住宅システムであり、(一財)建築・環境省エネルギー機構『断熱住宅(評定番号：評定第209号)』・『ソーラー住宅システム認定【次世代型】(認定番号SH9904)』、気密工法の特別評価方法認定(認定番号：国住生第215号)などを取得してきた。

この高い断熱性能と気密性能を維持しつつ、長期優良住宅の技術基準を準拠することで、省エネ性能と長寿命性能を合せ待ったものが「ファース工法【長期性能タイプ】」である。

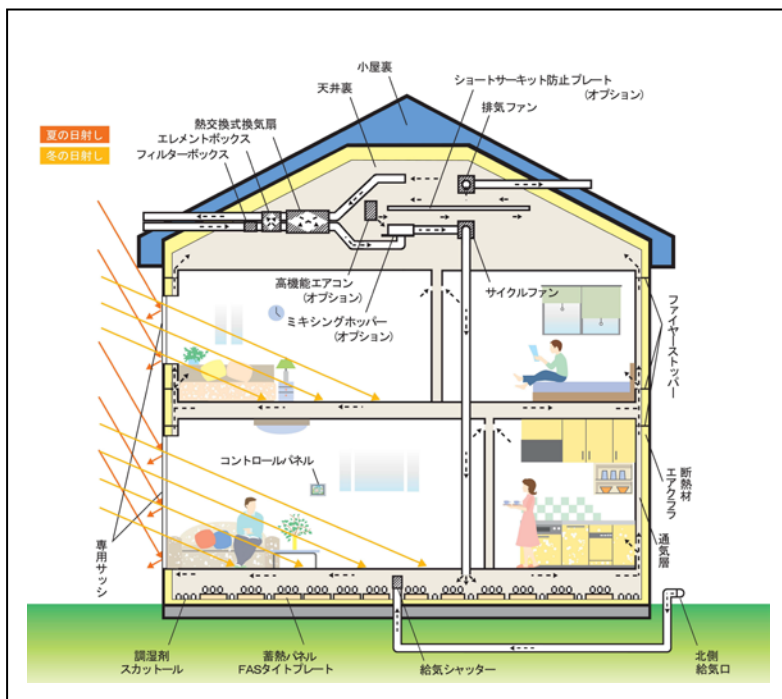
<長期優良住宅技術基準>

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1) 構造躯体等の劣化対策 | 住宅性能表示制度【劣化の軽減】等級3 |
| 2) 耐震性 | 住宅性能表示制度【構造の安定】耐震等級2 |
| 3) 維持管理・更新の容易性 | 住宅性能表示制度【維持管理への配慮】等級3 |
| 4) 省エネルギー対策 | 住宅性能表示制度【温熱環境】断熱等性能等級4 |
| 5) 維持保全計画(35年間) | |

第2章 システムの概要

2-1. 工法概要

- ① 断熱・気密工事は、専用の断熱・気密材 吹付硬質ウレタンフォーム(エアクララ)を専門職が現場にて責任施工を行うことで、施工精度と施工品質の合理化を図る。
- ② 耐震性の構造チェックは【認定プログラム「構造EX」】に統一することでチェックミスを防ぎ、簡略化等を図っている。
- ③ 独自のファース工法専用部材供給体制により、資材調達の合理化を図る。



【システム概念図】



【断熱・気密工事】

2-2 基本構造

① 主要構造

- 主要構造材：カラマツ。エゾマツ、トドマツ、スプルー스(ホワイトウッド)
- 耐力壁：筋かい、構造用合板など

② 構造計画

- 平面計画：1P = 910mm
- 構造ユニット：4P × 5P以下を標準とする。
- 平面形状：矩形とし、長辺と短辺の比は3：1以下とする。

③ 開口部の制限

床開口（吹き抜け等）の幅は、床開口の存在する位置の床幅の最大1/2以下とする。

④ 柱の配置

- 耐力壁の両端部には柱を設ける。
- 常時かかる建物の荷重（固定荷重+積載荷重）を合理的に支える架構を組む。

⑤ 横架材の配置

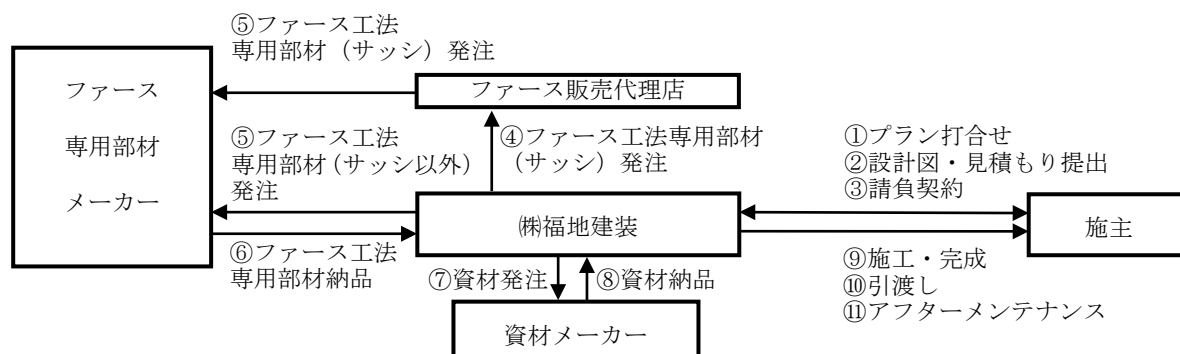
- 構造ユニットの上下には横架材を設ける。
- 吹き抜け等の四周囲には横架材を設ける。

⑥ 基礎の仕様

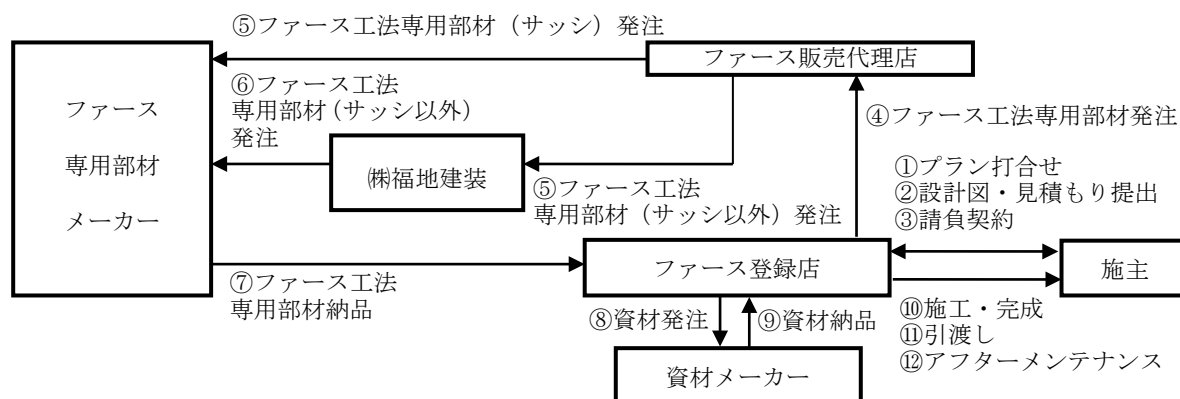
- 布基礎+防湿コンクリートとする。

第3章 供給体制について

【申請者（㈱福地建装の場合）】



【ファース加盟工務店の場合】



第4章 維持管理について

4. 1 住宅瑕疵担保履行法の資力確保措置については、指定保険法人㈱ハウスジーメンを推奨。
4. 2 維持管理については、保全計画書に定めた保守点検を実施する。